

院内がん登録統計をもちいた

がんの件数

2023年症例

院内がん登録統計をもちいた
がんの件数 2023年症例
2025年4月発行

市立札幌病院
がん登録室

【はじめに】

市立札幌病院での「がん登録」の件数をまとめました。

「がん登録」は、がんに対する予防や治療など、がん対策を進めるうえで大きな役割を果たしています。

ここでは、皆さまに当院で登録されているがんの件数、進行度、治療内容をご紹介します。

皆さまの不安や疑問が少しでも軽くなるためにご活用いただけますようお願いしています。

部位別症例数 2019～2023年

2025年3月5日作成

大分類	部位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
頭部・頸部	脳・中枢神経系	7	9	1-5	14	10
	口腔・咽頭	44	27	22	19	36
	喉頭	10	6	1-5	1-5	12
	甲状腺	39	32	18	30	28
呼吸器	肺・気管支	190	143	131	127	181
消化器	食道	23	18	17	26	17
	胃	121	63	57	89	87
	大腸	182	103	101	137	147
	肝臓	30	40	22	34	37
	胆嚢・胆管	19	21	16	15	13
	膵臓	51	34	52	38	50
皮膚/骨・軟部	皮膚	94	61	41	85	107
	骨・軟部	1-5	1-5	1-5	1-5	6
乳腺	乳房	198	142	131	162	190
婦人科	子宮頸	41	43	29	40	38
	子宮体	27	17	18	19	18
	子宮	1-5	0	0	0	0
	卵巣	16	14	8	15	25
	卵巣境界悪性	7	1-5	1-5	1-5	6
泌尿器	膀胱	60	51	61	91	84
	腎・他の尿路系	101	71	76	96	106
	前立腺	107	78	88	85	89
血液	悪性リンパ腫	114	60	64	91	124
	多発性骨髄腫	23	20	23	22	20
	白血病	39	28	28	30	34
	他の造血器腫瘍	19	18	25	28	33
その他	その他	50	41	27	33	34
総計		1,618	1,144	1,071	1,336	1,532

5件以下の場合は、1-5と表記しております (症例)

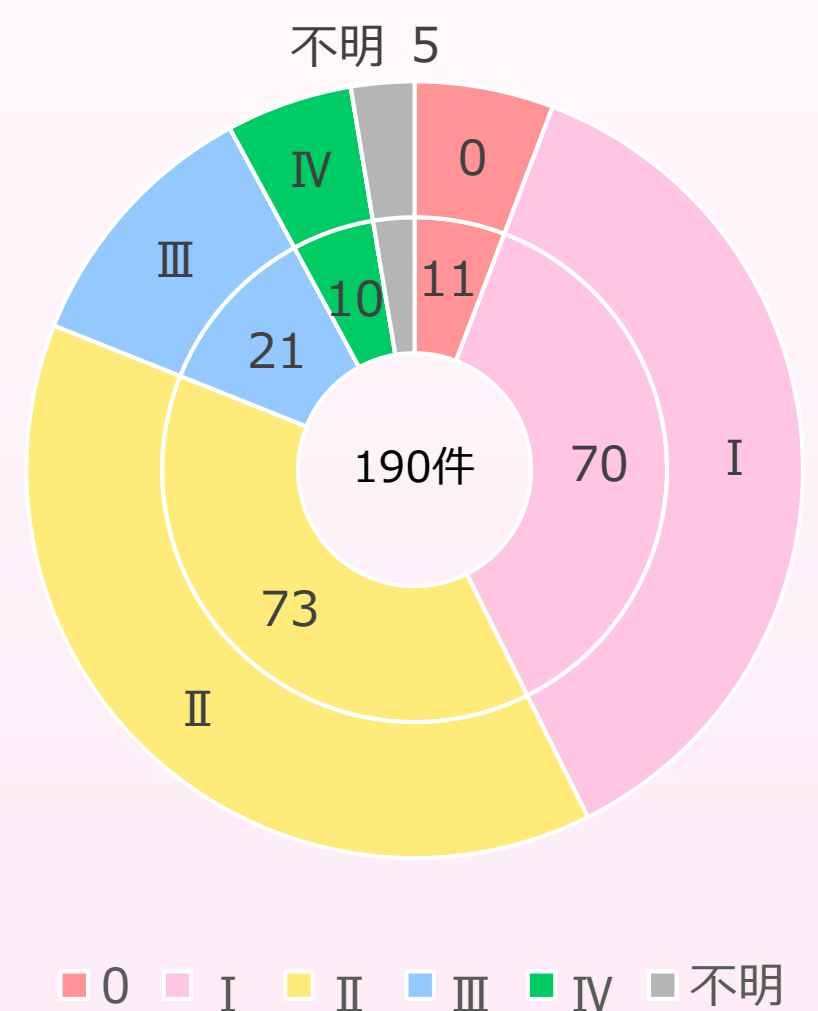
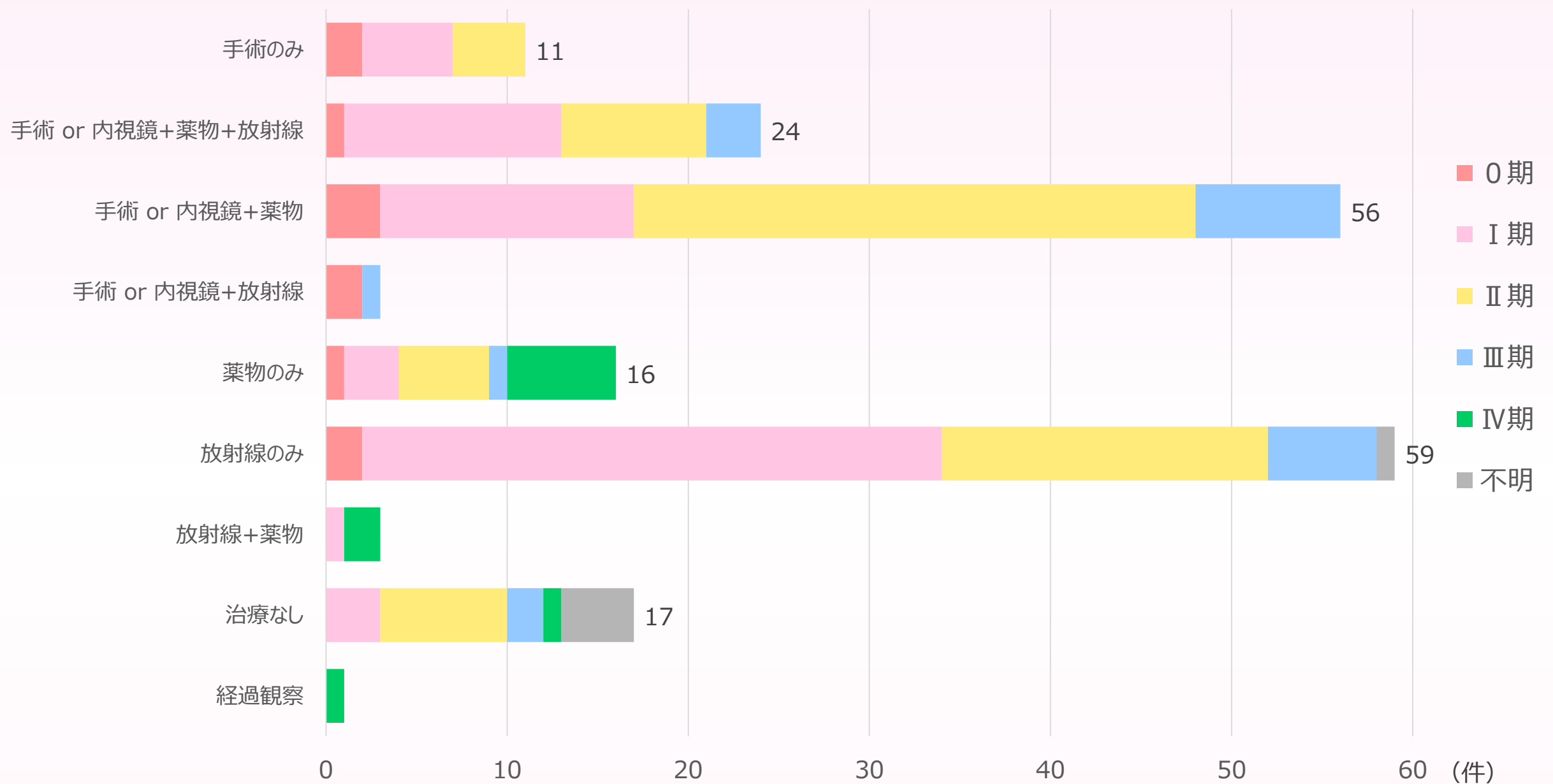
- ◆ 市立札幌病院での院内がん登録における、2019年から2023年までの5年間の登録件数の推移です
- ◆ 2020年より続いていたCOVID-19の影響が少なくなり、2023年は登録件数が増加傾向にあります

2023年部位別件数



- ◆ 市立札幌病院で2023年に初めてがんと診断された症例数を部位別で示しています
- ◆ 「その他」の部位はこちらです
食道, 子宮体部, 卵巣, 胆嚢・胆管, 脳・中枢神経系, 卵巣境界悪性, 喉頭, 骨・軟部, 多発性骨髄腫 など

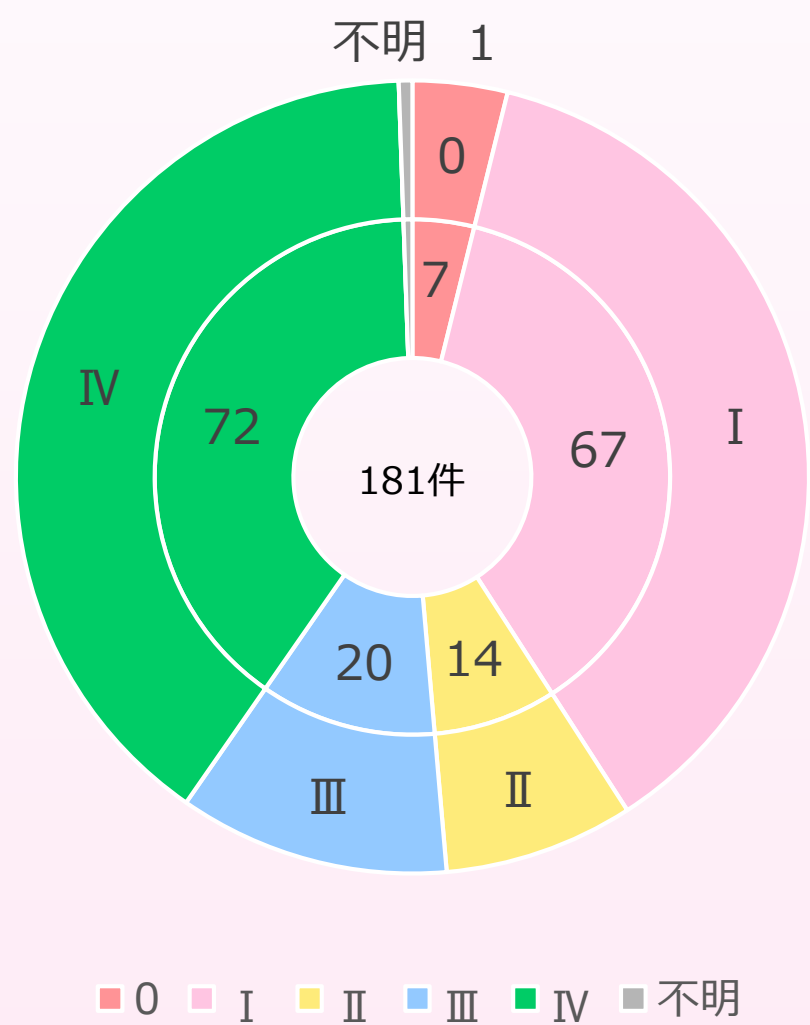
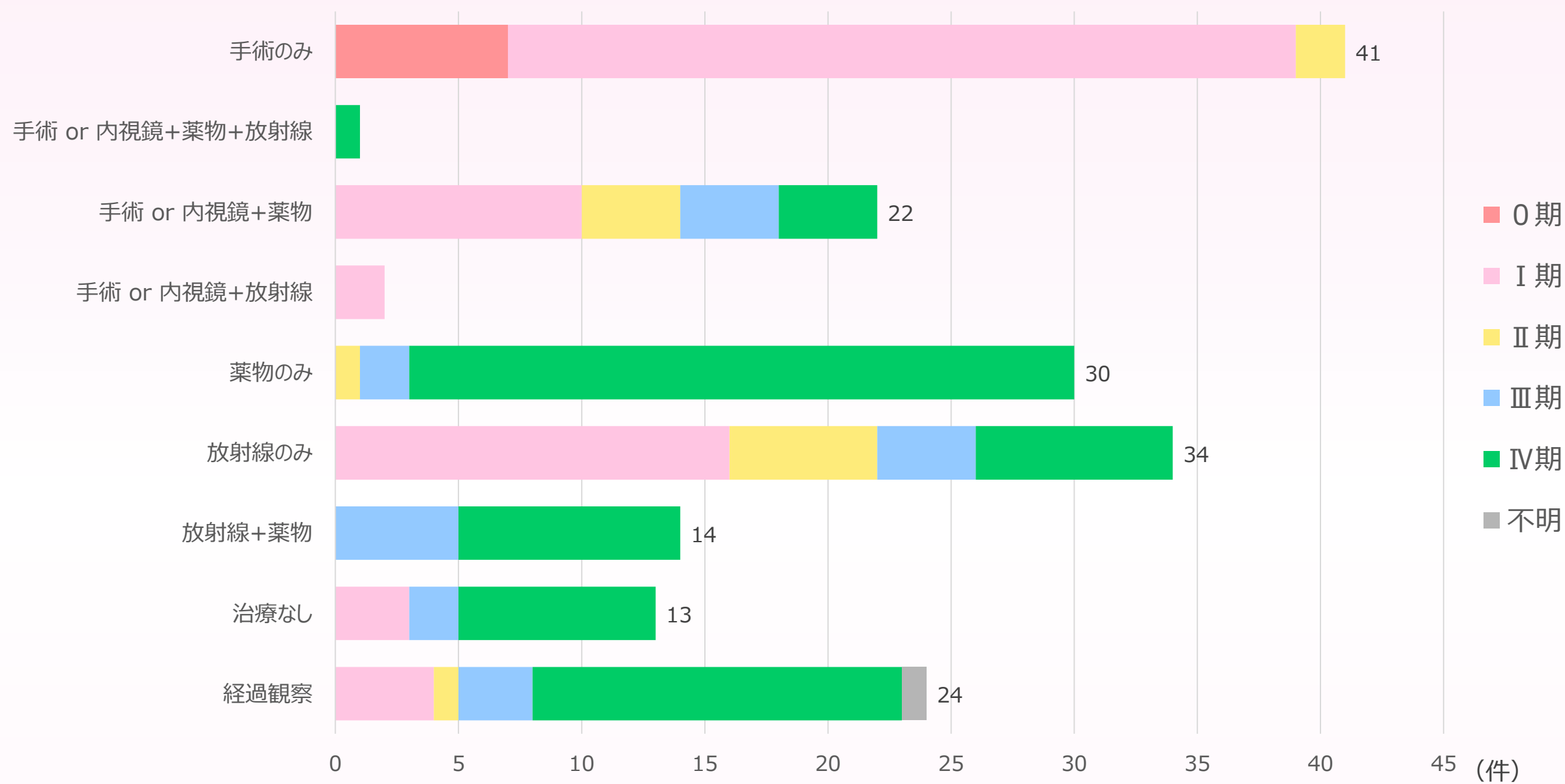
2023年 乳房 総合ステージ×治療方法



◆ 当院で1番目に多い部位です

◆ 男女比は男性が1.6%，女性が98.4%でした
女性に多いですが、男性でも罹患することがあります

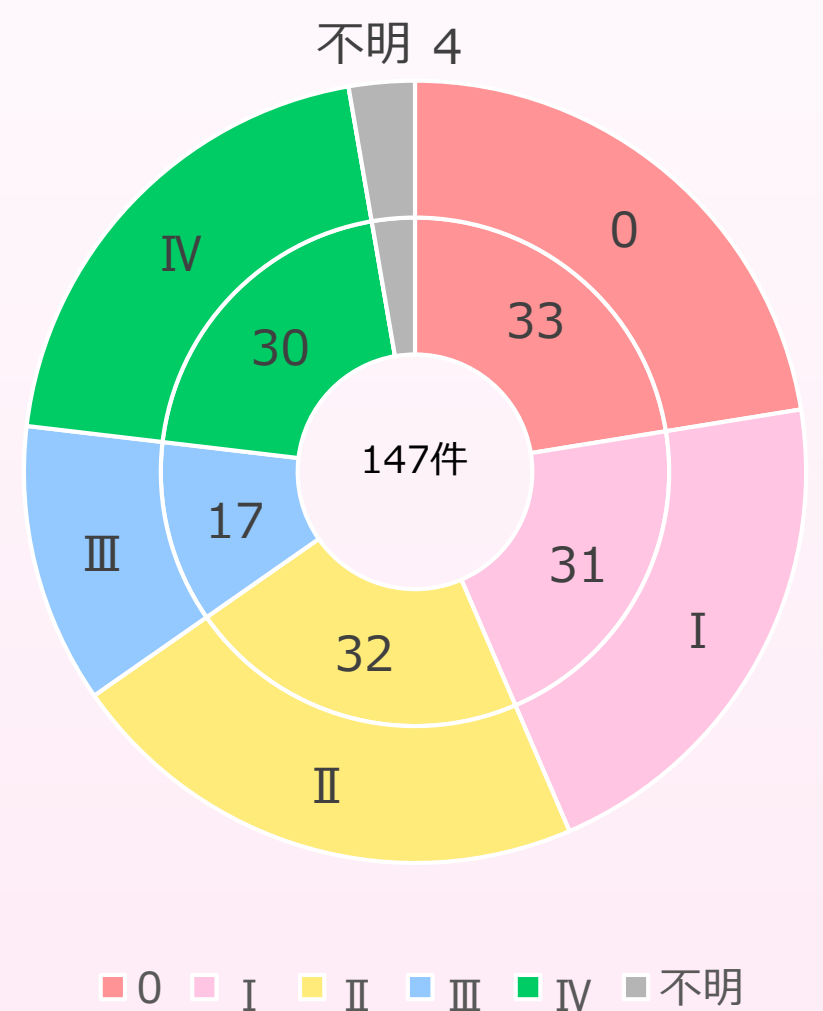
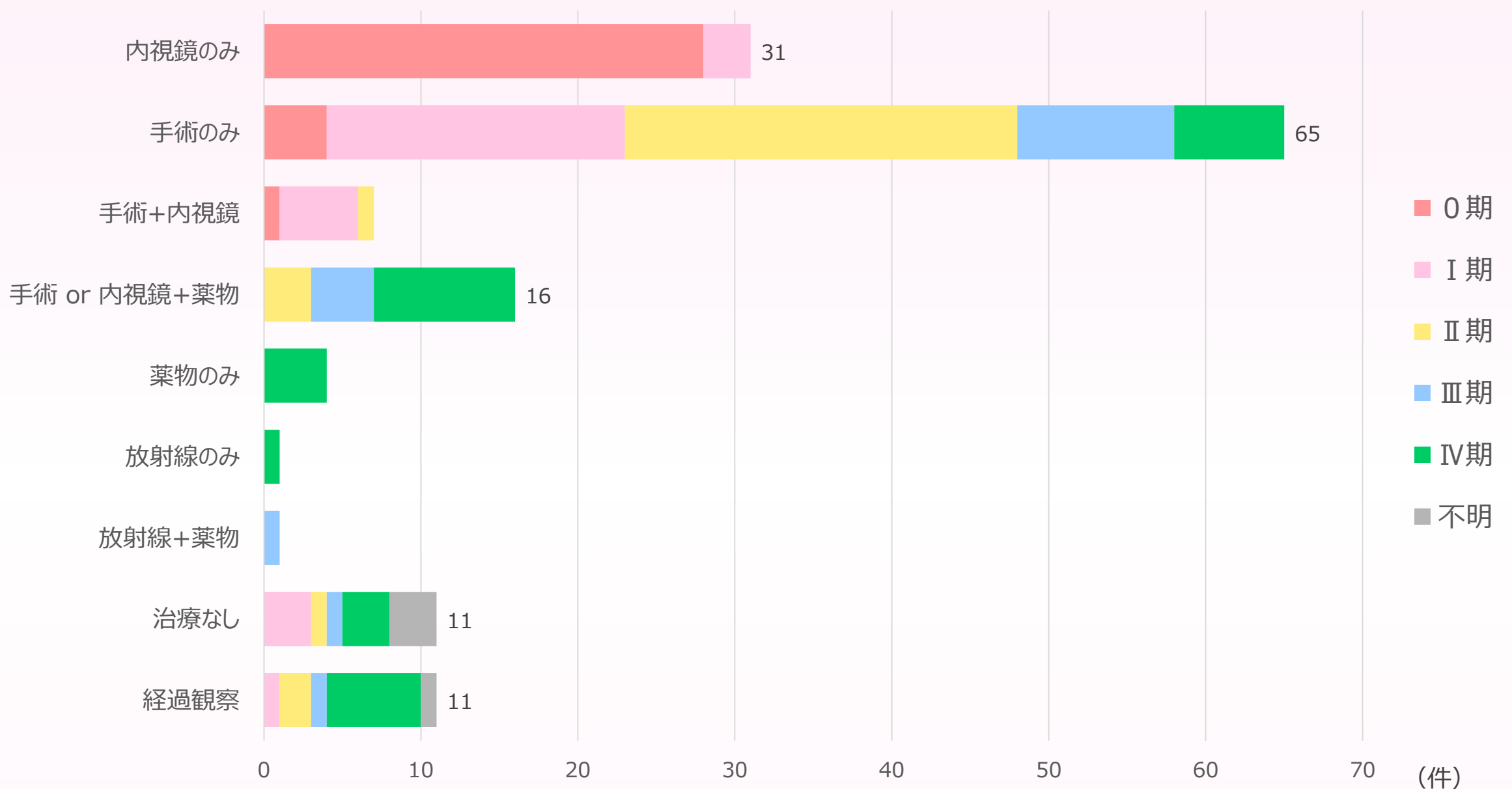
2023年 肺・気管支 総合ステージ×治療方法



◆ 当院で乳房に続いて多い部位です

◆ 男性が61.3%，女性が38.7%でした

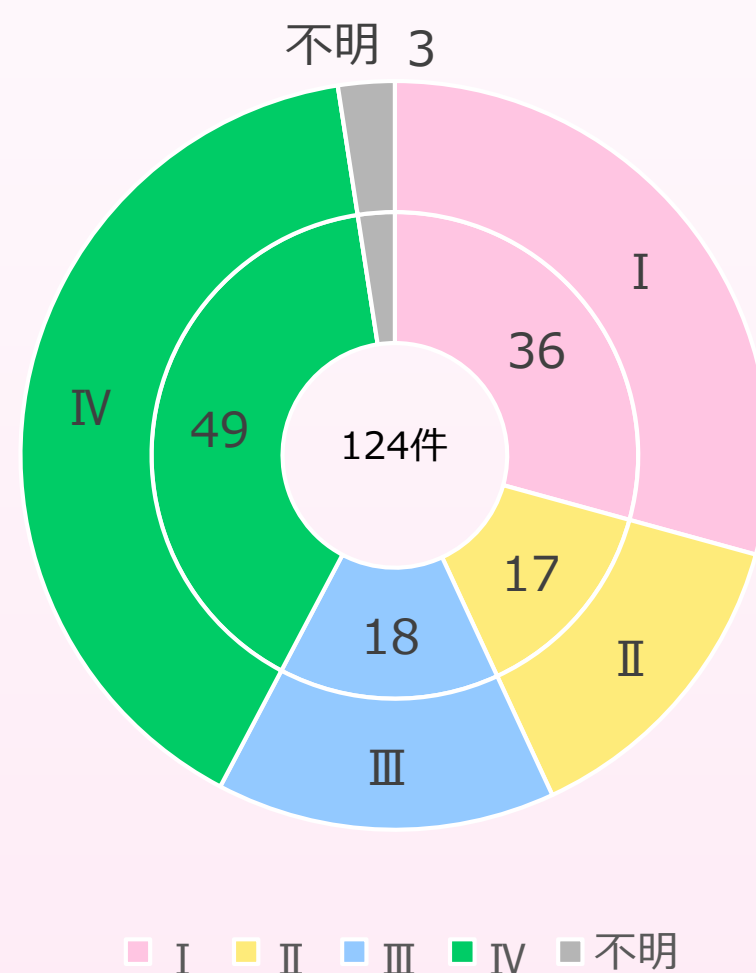
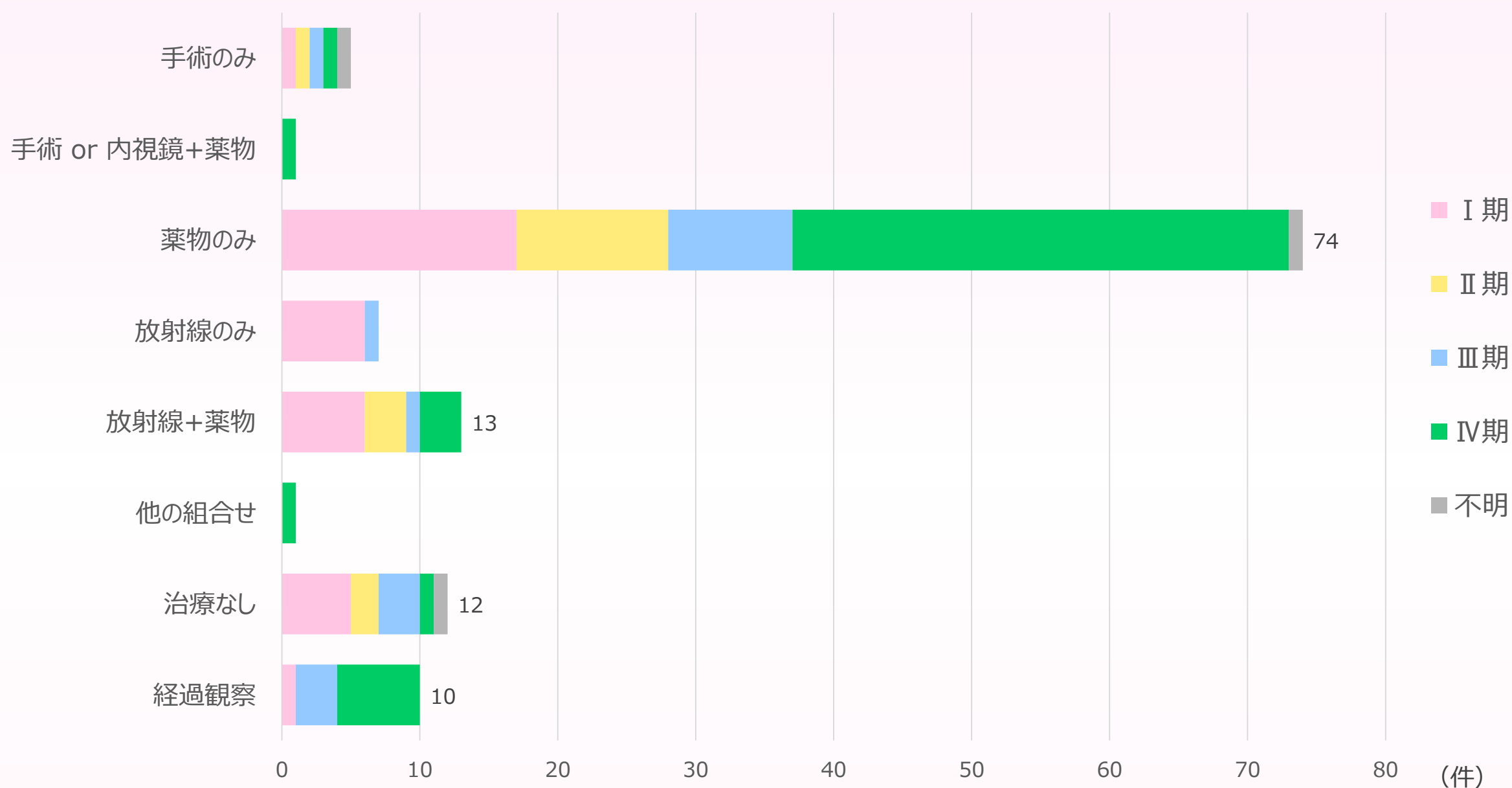
2023年 大腸 総合ステージ×治療方法



◆ 当院で3番目に多い部位です

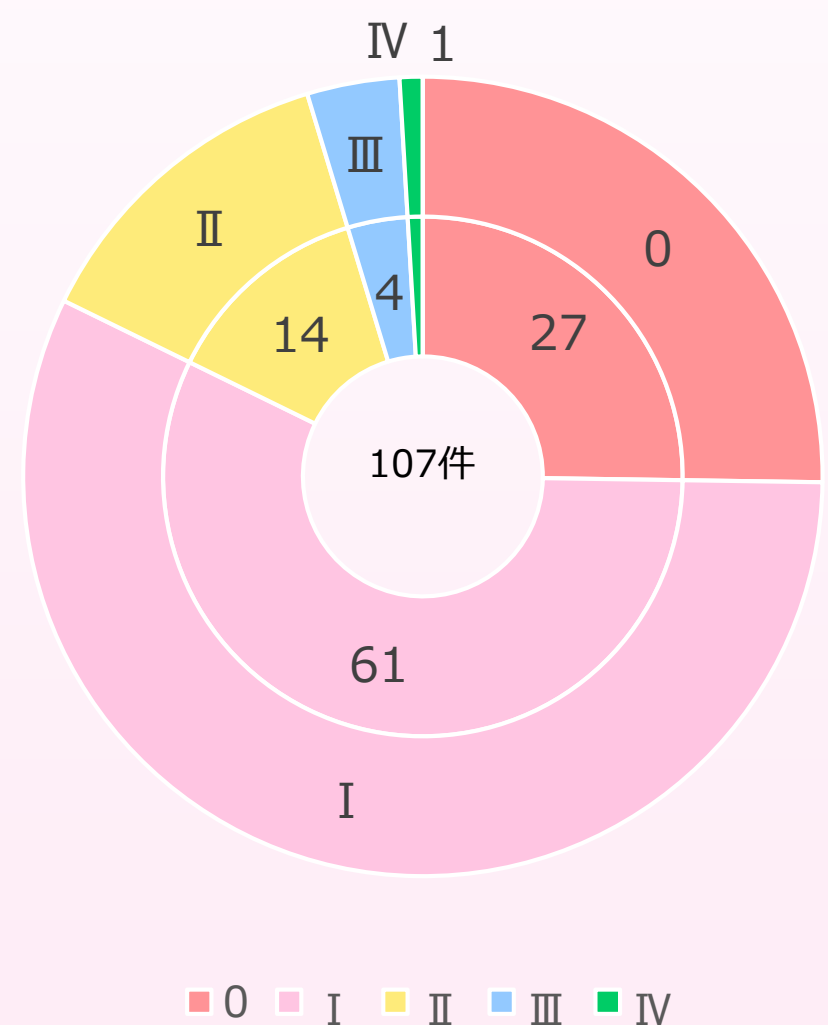
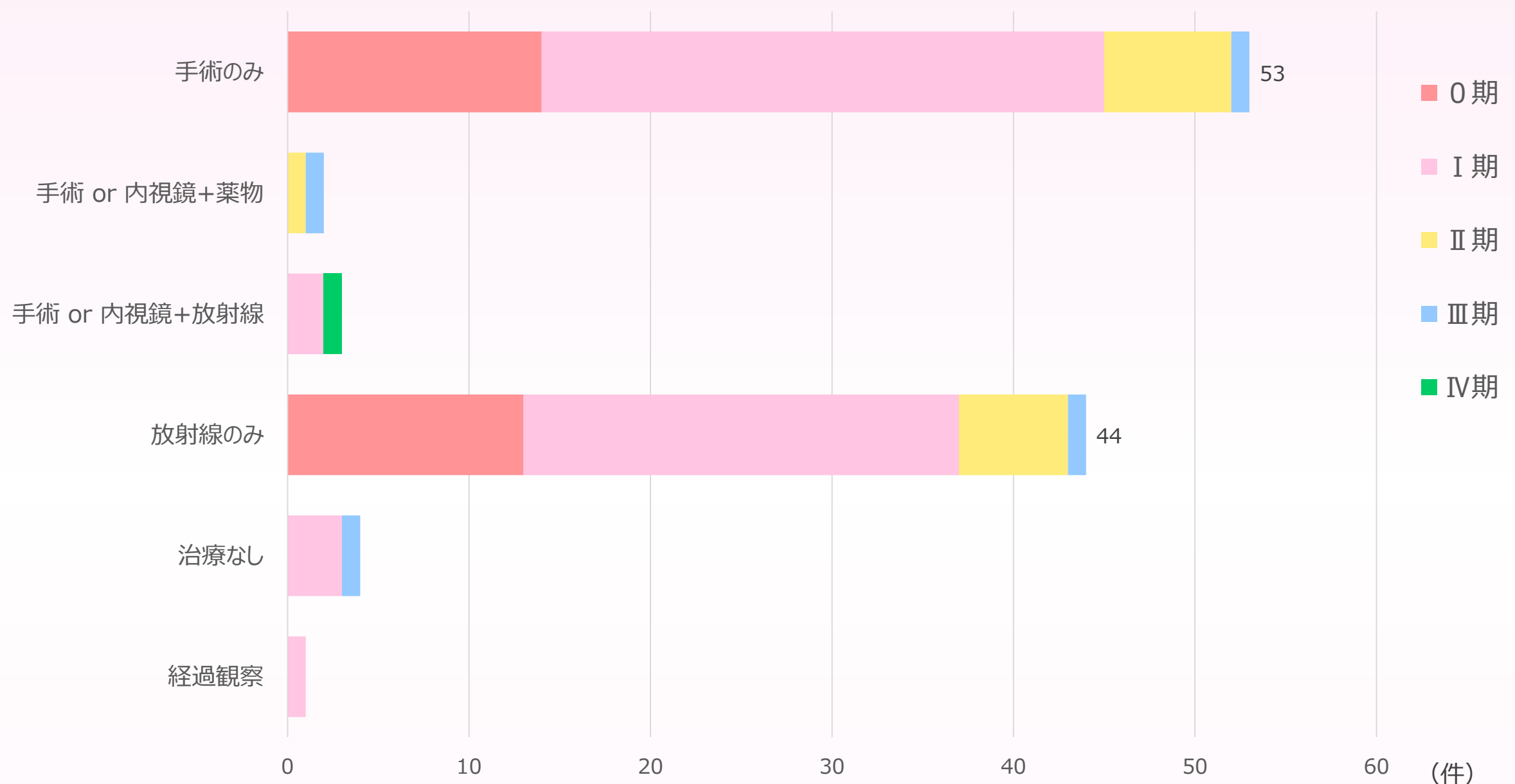
◆ 男性が51.0%，女性が49.0%でした

2023年 悪性リンパ腫 総合ステージ×治療方法



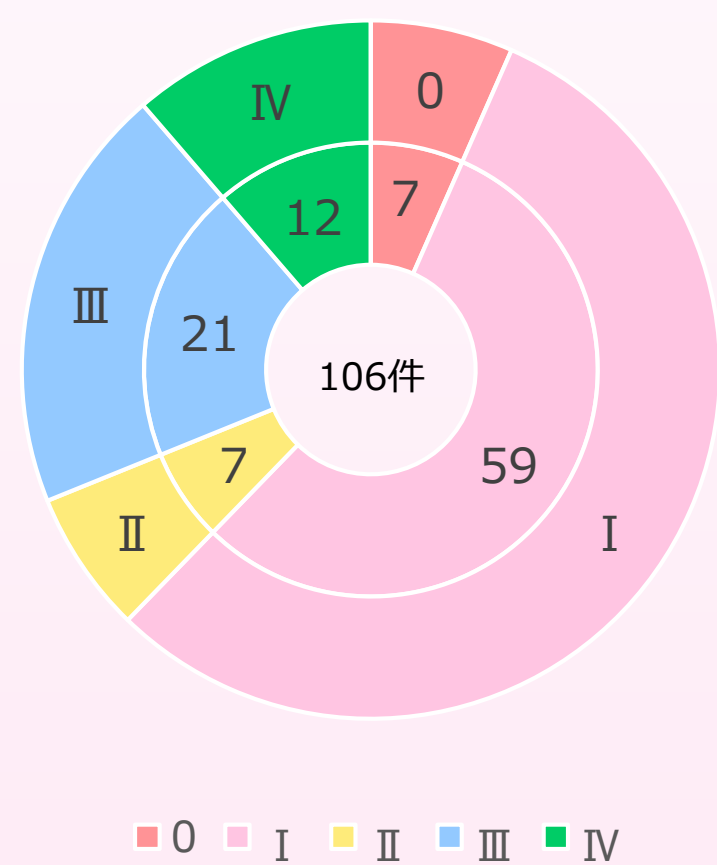
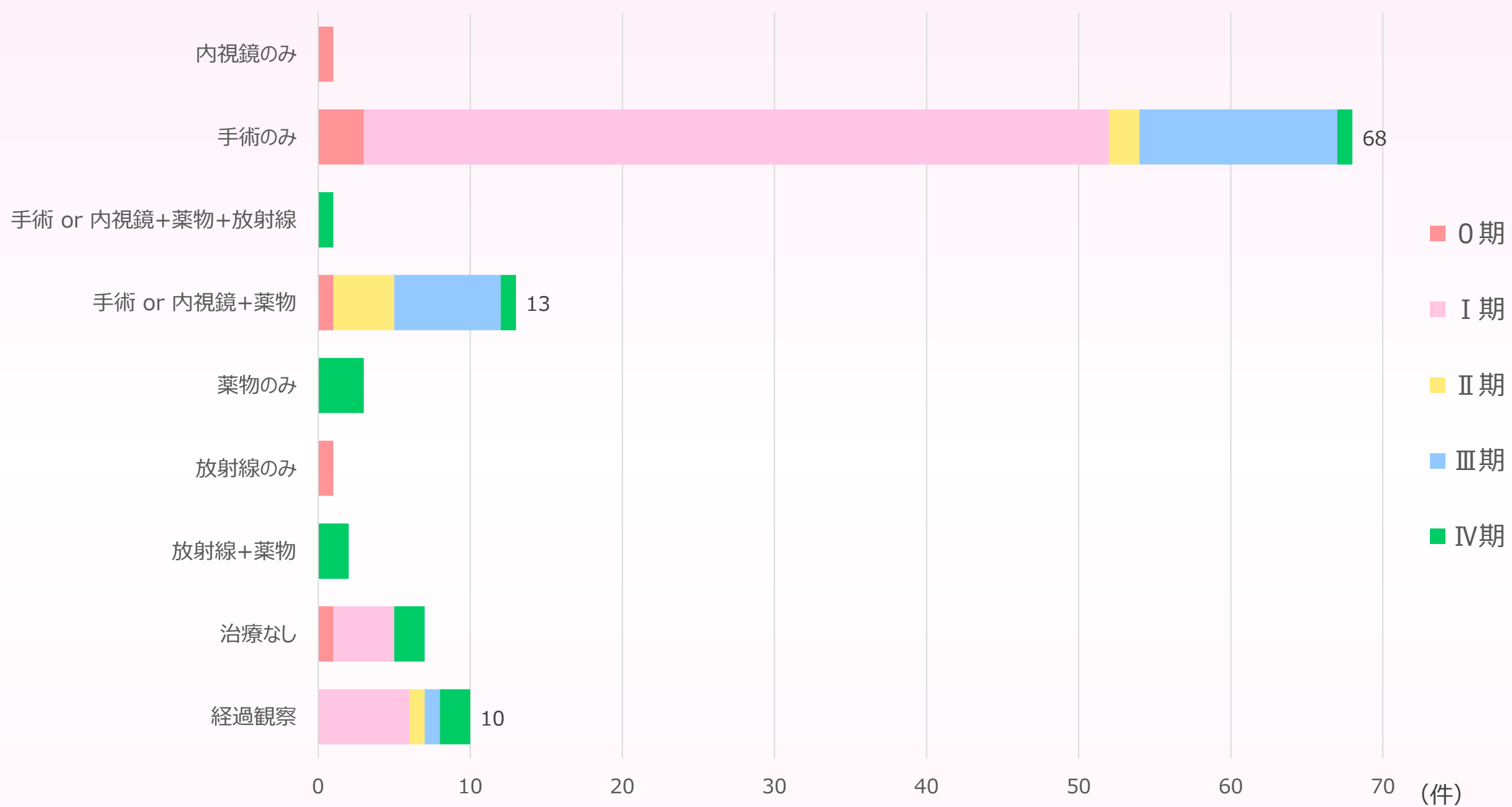
- ◆ 当院で4番目に多い部位です
- ◆ 男性59.7%，女性40.3%でした

2023年 皮膚 総合ステージ×治療方法



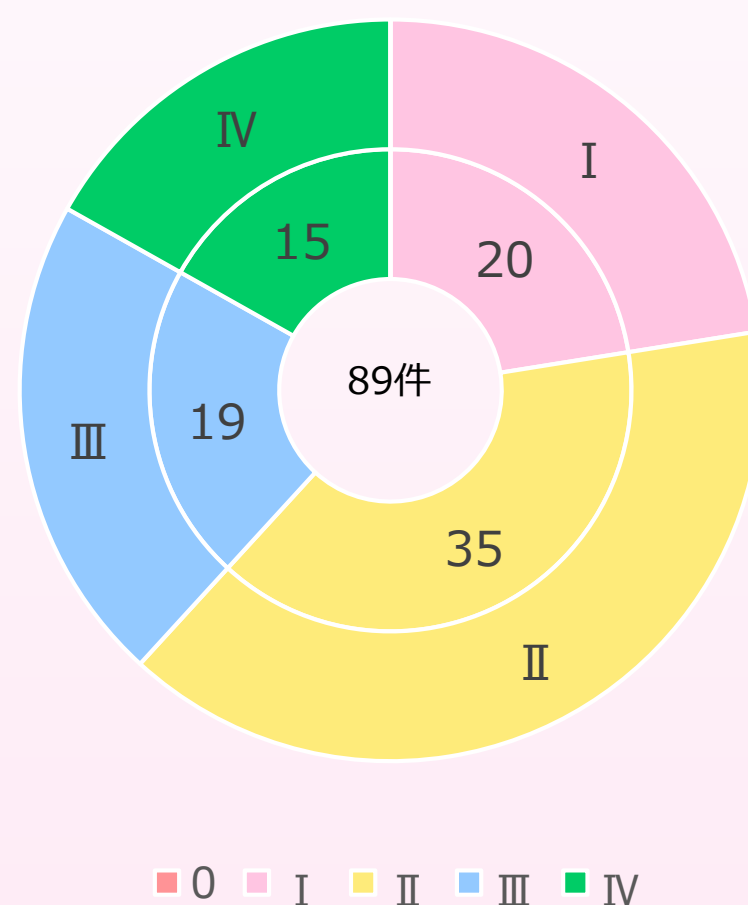
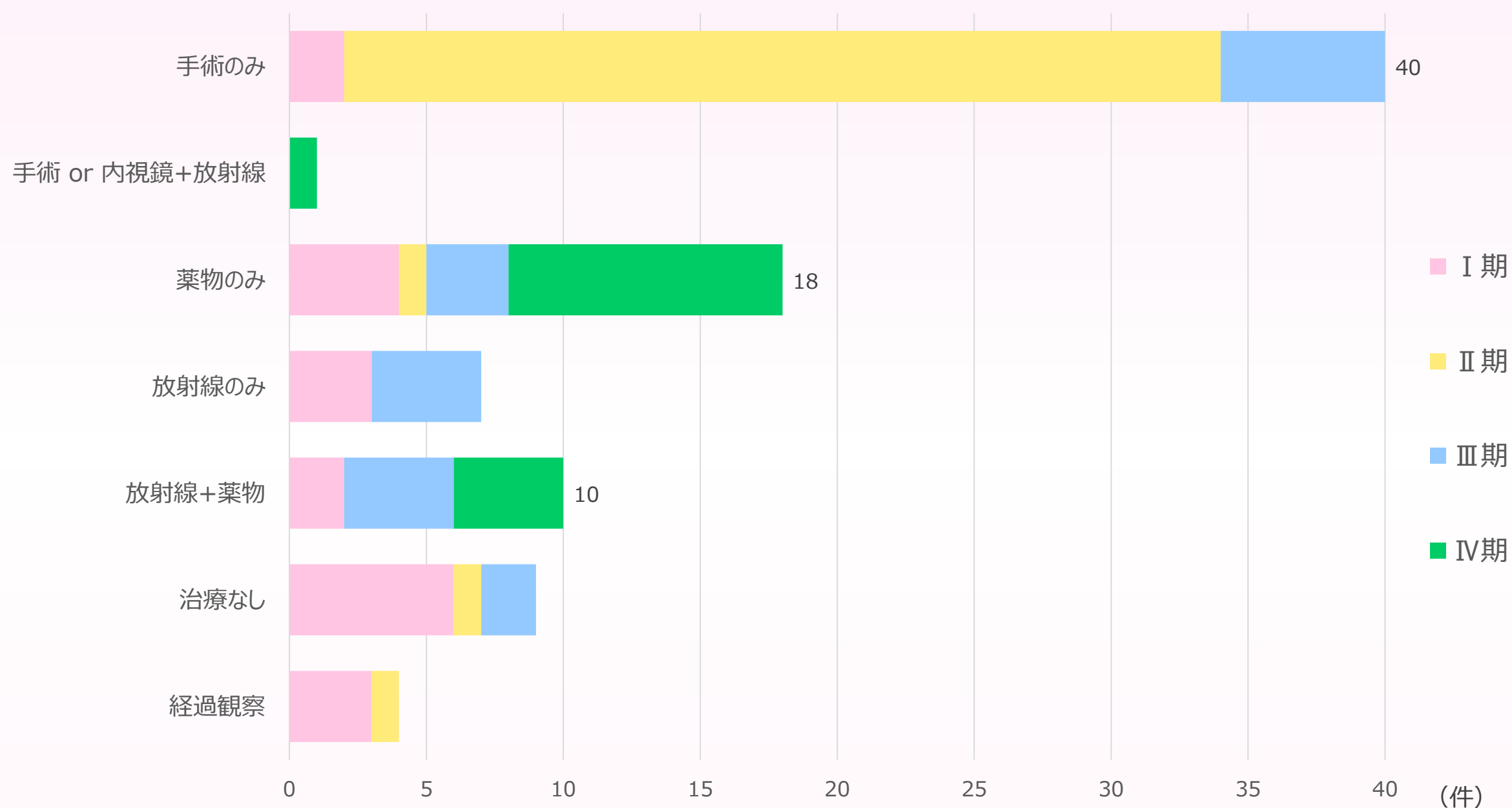
- ◆ 当院で5番目に多い部位です
- ◆ 男性が43.9%，女性が56.1%でした

2023年 腎・他の尿路系 総合ステージ×治療方法



- ◆ 当院で6番目に多い部位です
- ◆ 男性71.7%， 女性28.3%でした

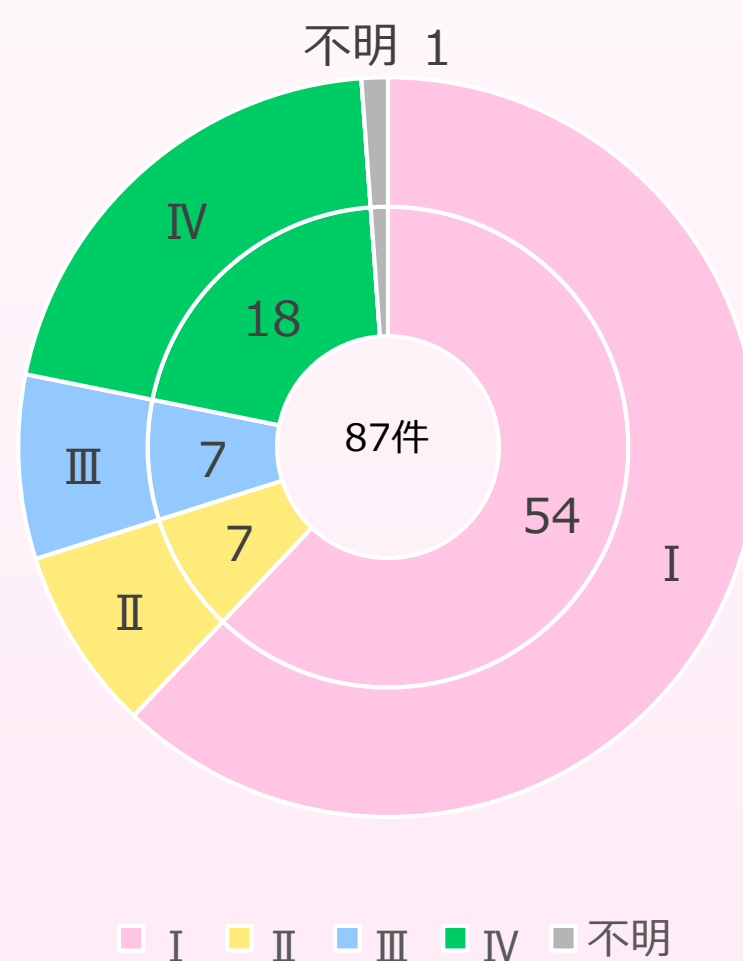
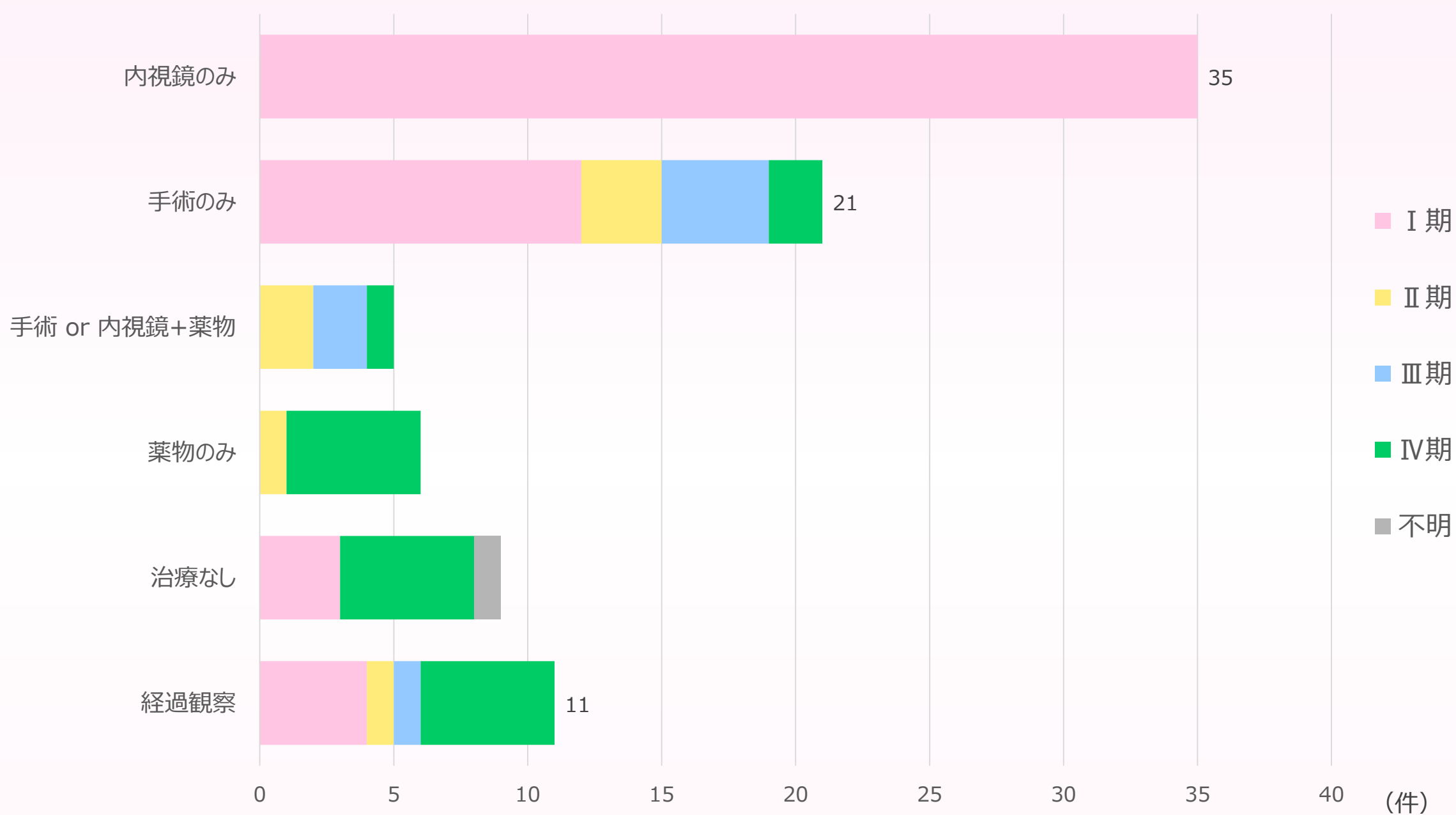
2023年 前立腺 総合ステージ×治療方法



◆ 当院で7番目に多い部位です

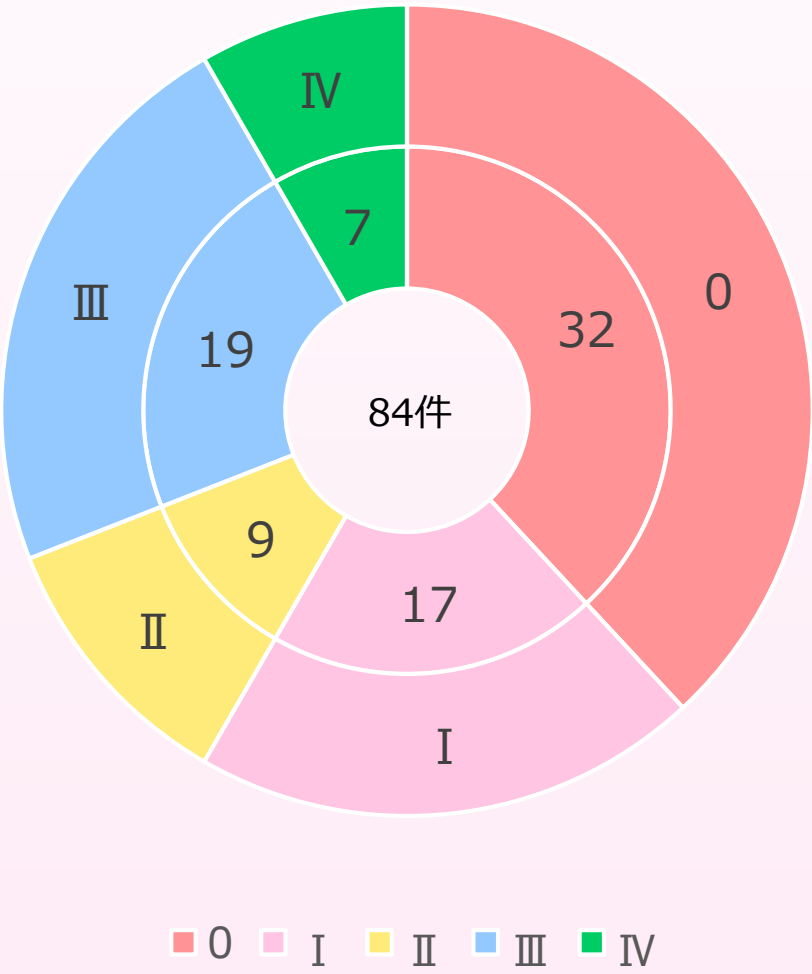
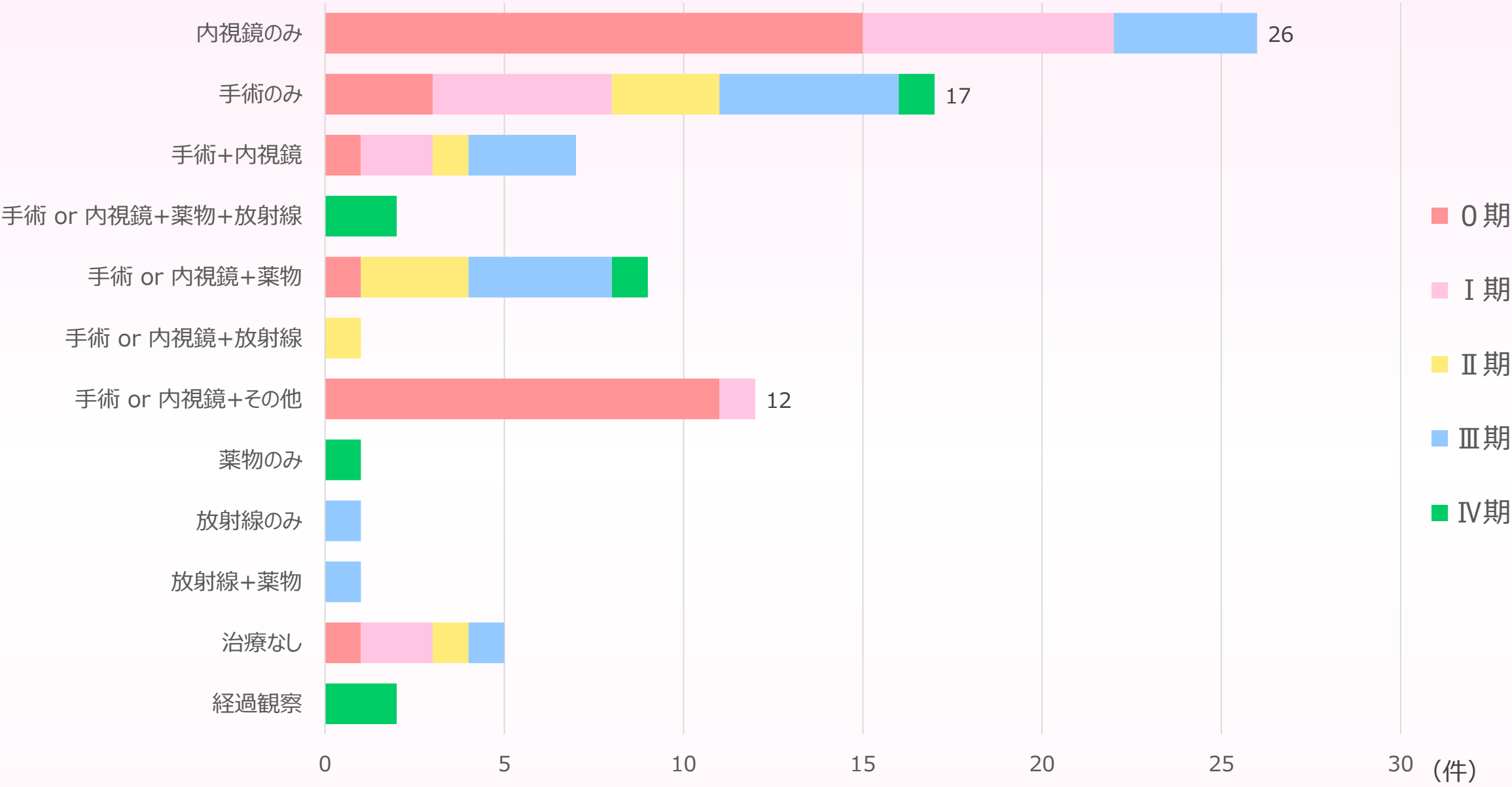
◆ 男性特有の疾患です

2023年 胃 総合ステージ×治療方法



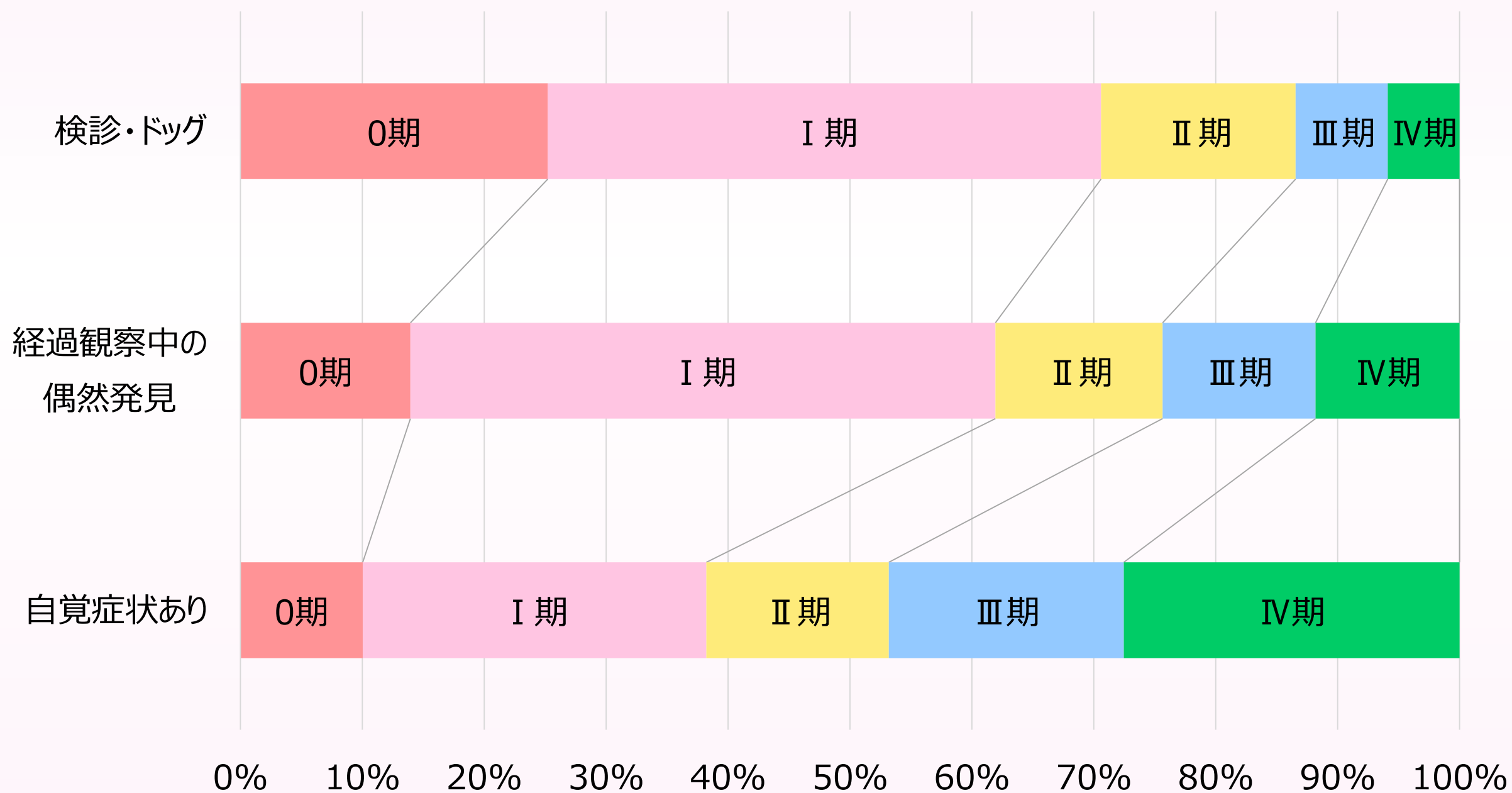
- ◆ 当院で8番目に多い部位です
- ◆ 男性が67.8%，女性が32.2%でした

2023年 膀胱 総合ステージ×治療方法



- ◆ 当院で9番目に多い部位です
- ◆ 男性が70.2%，女性が29.8%でした

検診や人間ドックは早期発見につながります



- ◆ 検診・ドックでは、早期がん（0期・I期）が多く見つかりました。おもに、乳房・前立腺・肺・気管支でした。
- ◆ 治療後も定期的に経過観察をすることで他のがんを早期に発見するきっかけを作ることができます。
- ◆ 自覚症状がある場合、進行したステージでみつかることが多くなります。

皆さまには、お住まいの市町村の検診
や人間ドックの定期的な受診をおすすめ
いたします。